

修学研修②

～スローガン「共律協援」～の達成を目指して
頑張った修学旅行！
みんなの笑顔が輝いていました！

「門司港レトロ」での体験と見学② 九州鉄道記念館，門司港レトロ展望室，お土産



列車の前でふつうにピース！

テーブルマナー講習の後、学級ごとに「九州鉄道記念館」と「門司港レトロ展望室」を見学しました。九州鉄道記念館は、明治時代に建築された赤レンガ造りの建物で、明治時代に九州で製作された木造客車の展示やSLと呼ばれる蒸気機関車から現代に至るまでの列車や模型等の展示も多数でき、明治時代からの鉄道の歴史が詰まった施設でした。ここでは、班ごとにSLの前で記念撮影を行いました。帰りのバスの中で写真をチェックしていたとき、女子のピースの指先が上向きではなく、下向きにポーズをとっている班がいくつかあり、先生たちの時代との違いに、時代の移り変わりを感じました(笑)。



出た！下向きピース！①



運転席にて、シュッパツ、シンコー！



ボクたち、マッチョ!?



出た！下向きピース！②



出た！下向きピース！③



運転席で、普通にピース！



展望室があるマンションを背景に

門司港レトロ展望室（日本を代表する建築家・黒川紀章氏が設計したマンションの最上階）は、地上31階にあり、そこからは関門海峡や関門橋、対岸の下関や門司港周辺の景色を一望できます。海の方を見ると、澄み渡った青空の下、海の青がキラキラ輝いて、空の青と海の青のコントラストがとともきれいでした。門司港レトロに集まる人々もとても小さく見えました。美しい景色をしばらく堪能できました。

そして、お土産等が買える「海峡プラザ」では30分ほどの時間でしたが、お土産を買ったり、自分にごほうびを買ったり、スイーツを食べたりしながら、でも、各班でハメを外したりすることもなく、きちんとマナーを守って過ごすことができていました。

「山口では自分のものが買えなかったので、今回は自分メインで買います!」と言っている人もいました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、門司港レトロを満喫して、学校へ向けて出発しました。

この修学旅行を通して、スローガンである「共律協援」をしっかり意識し、自分勝手な行動をすることなく自分をコントロール（自律）し、共に声をかけ合いながら支え合い、協力する姿がたくさん見られ、最上級生（リーダー学年）に向けての意識が大きく高まってきていると先生たちは手応えを感じました。今回はみんなの普段の学校生活や前回の修学旅行での頑張りや成長から、2年生のみなさんを信じて朝の持ちものチェックをしませんでした。そして、みなさんも誰一人として自分勝手に不要品をもって来る人もなく、ルールやマナーを守って、周りの人のことを考えながら笑顔で楽しく過ごしていました。微笑ましく、頼もしく、そして力強く成長を感じました。



ナゾのアイマスク集団、参上!

学校到着後は感染症対策で、学年で集まることはせず、帰着式は翌日の朝だったため、バス内でお世話になった添乗員さんやカメラマンさんに各クラスでお礼を言って、翌日の連絡を確認して解散しました。

朝行くときも、学校に帰ってきたときも、校長先生を始め、他学年の先生方が見送りや出迎えを体育館側の駐車場付近でしていただきました。特に朝は1年生の登校時間帯にバスが出発したので、交通安全指導も兼ねて朝早くから対応していただきました。お忙しい中、私たち2学年のことを見守っていただきありがとうございました。



バナナマン「オレの顔見えねーよ!」



私はバナナマン

次号では、翌日に行われた「帰着式」でのふり返りとまとめの内容をお伝えします。



バナナマンブラックと腕組んでみました!



長瀬先生といっしょに!



展望室から見下ろした景色をバックに!



海と空がとてもキレイでした!